

# 日本医史学雑誌 第四十五卷第一号 目次

## 原著

日本文学にみる医療思潮の歴史的変遷——疾病観の多重構造——	大星 光史	三
アメリカにおける人痘接種法——一七二二年からアメリカ独立まで——(その三)	小田 泰子	三
地藏寺過去帳による華岡青洲の系譜に関する新知見	松本 明知	四

## 資料

人痘接種法に反対したイギリスの牧師マッセイの説教	小田 泰子	七
桑田立齋『立齋年表』	二宮 陸雄・秋葉 實	八
池田文書の研究(十九)	池田文書研究会	九
『よしの冊子』医家関連記事(二)	町 泉寿郎	一一

## 追悼

追悼 ユニークな宮崎地方の医療史を編纂した田代逸郎先生	木下 和夫	一三五
-----------------------------	-------	-----

## 記事

### 消息

『桑田立齋先生種痘所之跡』および『桑田立齋アンヌ種痘之碑』の建立	二宮 陸雄	一三七
関寛齋の開拓精神に学ぶ「寛齋セミナー」開かる	芝木 秀哉	一三八
ウイリアム・ウイリス文書の里帰り	順天堂大学医史学研究室	一三九
第38回医史学研究会・日本医史学会関西支部(一九九八年秋季)合同総会	長門谷洋治	一四〇
例会記録		一四三

例会抄録

一九世紀末ドイツのベルリン学派によるヒプルギー(Hypurgie、看護療法)について

〈医は意なり〉攷——医学思想的観点から——

紹介

大星光史著『文学にみる日本の医薬史』

.....寺澤 捷年.....一三五

〈本号の表紙絵〉

先天代謝異常症研究の先駆者  
アーチボルド・ガロッドの蔵書票

この蔵書票 (1922年製作) は、当時の著名なイラストレーターであるニュー Edomund New のデザインになるもので、オックスフォード大学クライスト・チャーチとガロッド・カレッジの間に眺望される、クリストファー・レン設計のトムタワーが描かれている。ガロッドの生涯を表徴的に表現している、きわめて興味ある蔵書票といえよう。

ガロッド Archibald Edward Garrod (1857-1936) は、オックスフォードのクライスト・チャーチに学び、聖バーソロミュー病院やロンドン小児病院に勤務したのち、オックスフォード大学の内科欽定講座教授に就任した。1908年にロンドン王立内科学会で、クルーン講義として「先天代謝異常症」と題する連続講演をおこなった。これによって、今日では小児科学領域におけるトップ・トピックスともいえる先天代謝異常症研究の幕が切っておとされたのである。

(深瀬 泰旦)

.....平尾真智子.....一三三  
.....館野 正美.....一三四